



2019年11月14日

各位

会社名 株式会社 KADOKAWA
代表者名 代表取締役社長 松原 眞樹
(コード番号：9468 東証第一部)
問合せ先 執行役員
グループ経営企画本部長 沖野 総司
(TEL. 03-3549-6370)

通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、2019年5月14日に公表した2020年3月期の通期連結業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年3月期 通期連結業績予想の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|--------------------------|---------|--------|--------|-------------------------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 217,000 | 5,400 | 6,200 | 3,800 | 60.07 |
| 今回修正予想 (B) | 207,000 | 10,000 | 10,800 | 9,500 | 154.61 |
| 増減額 (B-A) | △10,000 | 4,600 | 4,600 | 5,700 | |
| 増減率 (%) | △4.6% | 85.2% | 74.2% | 150.0% | |
| (ご参考) 前期実績 (2019年3月期) | 208,605 | 2,707 | 4,205 | △4,085 | △63.94 |

2. 連結業績予想修正の理由

(売上高について)

映像・ゲーム事業とその他事業において、期初予想時点では想定していなかった子会社売却を行ったこと等により、売上高は前回発表予想を10,000百万円下回る見込みです。

(営業利益について)

出版事業が引き続き好調に推移する見込みです。また、昨年度より行なってきた(株)ドワンゴの構造改革が想定より早く進み、Webサービス事業で収益が大きく改善すること、全社にかかるコストが改善することにより、営業利益は前回発表予想を4,600百万円上回る見込みです。

(経常利益について)

上記営業利益の上振れにより、経常利益は前回発表予想を4,600百万円上回る見込みです。

(親会社株主に帰属する当期純利益について)

上記の増益要因に加え、連結納税制度の適用に伴う繰延税金資産の計上等により、親会社株主に帰属する当期純利益は前回発表予想を5,700百万円上回る見込みです。

3. 2020年3月期 配当予想の修正

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 前回発表予想 | — | 0.00 | — | 20.00 | 20.00 |
| 今回修正予想 | — | — | — | 30.00 | 30.00 |
| 当期実績 | — | 0.00 | — | — | — |
| 前期実績 (2019年3月期) | — | 0.00 | — | 20.00 | 20.00 |

(注) 2019年3月期の配当原資は、全額が資本剰余金であります。

4. 配当予想修正の理由

当社は、株主をはじめとするステークホルダーに対する利益配分を継続的に実施すること、その前提として永続的な企業経営を行うことが重要であると考えており、そのためには、企業体質を強化すること、将来の事業展開に備え内部留保を充実させることが必要条件であると考えております。その上で、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と認識しており、各期の経営成績を考慮に入れ検討していく所存です。

この方針に基づき、2020年3月期の通期連結業績予想を修正したことを勘案し検討した結果、配当予想につきましても前回発表予想から10円増配の30円に修正いたします。

※上記の通期連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因により、予想値と異なる結果となる可能性があります。

以 上